

中部電力、浜岡原子力発電所を視察

6月30日、議員と役場職員、計14人で静岡県御前崎市にある、浜岡原発を視察しました。敷地面積は160万㎡、お茶畑がつらなる牧之原台地を背後に遠州灘に面した平坦な海岸地帯にある。



塔の高さ80m、羽根の半径40mの巨大な風力発電機、11基ある

東北の大震災は、余りにも多い犠牲者、破壊された広大なふるさと、断ち切られた数限りない人々の絆など、想像を絶した悲惨なつめあとを残した。そして、福島原発事故は終わりの見えない状況です。

我々の愛するふるさと池田町は、福井の原発から直線距離で60kmにあり、無関心ではられません。そのため、今回浜岡原発への視察を実施した。発電所は広大で構内は厳重に管理されていました。また、同じ敷地内にある風力発電もその真下から仰ぎ見た。

核物質を扱っている施設だという事で、身元確認もしっかりされ、原発の中核部を見せてもらった。いかに安全運転をしているかを丁寧に説明され、多くの質問にも答えて頂いた。原発の安全性とエネルギー政策という難しい問題が国をあげて議論されている今、現場を見た事で、事業の壮大さがイメージでき、進むも退くも、大変な事だと実感した。



研修館では、原発の話をも専門官から聞く

「議会改革」 一般質問は1問1答式に

今まで：複数の質問の場合、一括で質問し答も一括。持ち時間50分。

これから：1問ずつ、質問・答を完了していく。持ち時間50分。

メリット：質問者・答弁者・傍聴者にわかりやすい。



6月議会から、クールビズで白の国体ポロシャツ